

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-25 商店街振興事業 □支援部門				タイムスコード及び個別事業名				
	主管課	産業振興課		関連課		379	商店街助成事業		
分野名	産業振興				381	商店街振興事業			
目標 (目標値)	地域の特性を生かした商店街振興を図る。				808	商店街振興事業			
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	13,255千円	12,952千円	事務事業の内容 ①商店街連合会補助事業 ②商店街活性化事業 ③街路灯維持管理事業 ④商店街アドバイザー派遣事業 ⑤商店街空き店舗活用事業 ⑥商店街空き店舗出店事業 ⑦モデル商店街整備事業 ⑧お店紹介ホームページ事業					
	(国・県)						指標と評価		
	(負担金等)						指標	商店街会員数	
	(一般財源)	13,255千円	12,952千円				評価	△	
	人員配置数	1.0人	1.2人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	9,185千円	11,546千円					目標値	実績値
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	22,440千円	24,498千円	20年度	2,300会員	2,134会員			
	市民1人当りの経費	127円	139円	21年度	2,300会員	2,109会員			
	対象者1人当りの経費			22年度	2,300会員				
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名			23年度	2,300会員				
				最終年度 (年度)					
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・本市に存する大部分の商店街において、活性化の必要がある。							
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・鎌倉市商店街連合会総会等において商店街空き店舗出店事業を周知したところ、腰越地域の商店会が当該制度を利用することになった。 ・モデル商店街整備事業については、ショッピングモールの基盤施設である県道鎌倉葉山線の歩道拡幅事業の早期完了を目指し、前年度に引き続き、県の建物調査と用地買収が円滑に実施されるよう、交渉に同行するなどの支援を行った。							
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・後継者問題、省エネ対策等各商店街が抱える課題に対応した商店街活性化策の検討。							
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・各商店会に対してアンケート及び聞き取り調査を実施し、課題を確認して、新たな活性化策を検討する。							
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性			
A	有	商店街振興のため、各商店街が抱える課題に対応した施策を構築し、商店街活性化を支援する。			A	有			
課長名		川村 裕伸		部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦			